

2-3面 新春対談 自治労東京の組織内議員に聞いてみました! 新春クロスワードパズル
4面 第25回ベストショットコンクール

自治労東京

千代田区飯田橋3丁目9番3号 SKプラザ4階 電話 03-3556-3755
自治労東京都本部 発行 企画 総務局
責任者 染 裕之 編集者 須崎 崇文 1部10円(但し組合員は組合費を含む)



「日本の象徴」

練馬区職員労働組合 小城原 淳さん

東京都千代田区新丸ビル

(選評は4面に掲載)

新年のごあいさつ



自治労東京都本部 中央執行委員長

染 裕之

社会の不条理に立ちむかうことは 労働組合の責務

新年あけましておめでとうございます。組合員とご家族の皆さんにおかれましては、健やかに新年を迎えられたことだと思います。

感染症のパンデミックで社会全体が翻弄されて三年が経過しました。コロナ禍は、格差と分断、深まる対立など日本社会の病巣をさらに顕在化させました。格差の拡大は、労働者派遣法の施行・改善や富裕層中心の税収策の導入など、政府と企業の「格差拡大策」によるものです。こうした誤った政策は、労働者階級の中でも特に貧困に苦しむ新しい下層階級構造の形成に至り、深刻な差別や分断につながっています。

少子・高齢化、差別と人権問題、男女平等参画社会の実現など、私たちの社会には解決しなければならない多くの課題があります。社会の不条理に毅然と向き合い、誰一人取り残さない包摂社会の実現に向けて努力することは、組織された労働組合の責務です。ポストコロナの未来にむけた新たな社会を構想する自治労運動の智恵と勇気が求められています。

さて、昨年は参議院議員選挙では、自治労組織内候補の鬼木まことさんが国政における貴重な議席を得ることができました。組合員の皆さんのご協力に改めてお礼を申し上げます。社会のセーフティネットである自治体の公共サービスに携わる私たち本部組合員は、都民の生命と暮らしを守るために日夜奮闘を続けています。公益的な分野を自治体が責任をもって運営することの重要性が以前にも増しています。一人でも多くの協力議員を政治の場に送り、私たち自治労組合員の声を発信する政治闘争の活性化が求められています。

都本部は、組合員の処遇改善と公共サービスの再構築にむけて、組合員の皆さんとともに全力で取り組むことにお約束します。しっかりと前をむいて頑張りますよ!

第25回 ベストショットコンクール

講評

選 考を通してまず感じたことは、写真のうまさにかなり差があるということです。過去の受賞もある程度同じ人たちが受賞しているようでした。これは決して悪いことではありません。良い作品が受賞するのは当たり前のことですから。しかし、写真の表現とはうまさだけではありません。私は撮影の仕事以外に写真専門学校で講師をしています。ゼミの授業では繰り返し述べることがあります。イメージ(写真のこと)とは、本来ものの見方やとらえ方、あるいは考え方が映像になったもので、ものの見方のないイメージは写真ではないということです。大きさに言うと、その写真の裏側に撮影者の価値観や哲学、思想が反映されている必要があるということです。これはプロを目指す者たちにとって述べる内容ですから皆さんのように楽しみとして撮影する人々にはあまり関係ないかもしれません。しかし、自治労という組合の中でのコンクールですからカメラ雑誌とは異なる作品の特徴があってもよいのではないのでしょうか。旅行やお祭りといった特別の時だけではなく、日常をもっと撮影してもよいのではないのでしょうか。例

えば職場や住んでいる町の様子など。このような対象を何枚かで組み写真にしてみることをお勧めします。写真を組むということはそこに何かのテーマがないとなかなか組みません。そのために一枚写真には面白さと難しさがあります。つまり自分は複数の写真で何を表現したいのかを考へざるを得ません。今までにない写真との向き合い方が必要になります。皆さんさらに深い写真の世界にむかってください。それは自分を見つめる作業にもなります。

写真家 鈴木 邦弘さん

雑誌を中心にフリーの写真家として活動。「自治労通信」および「世界」などにドキュメンタリー写真を発表。93年「森の人・PYGMY」で第18回伊奈信男賞を受賞。日本写真芸術専門学校主任講師。日本写真家協会(JPS)会員。自治労本部情宣セミナー分科会講師。



最優秀賞 選評

「日本の象徴」

小城原 淳さん

選評 写真を見たほとんどの人が「すげえー」とうなってしまふような作品です。国会議事堂と富士山が一枚の写真と一緒に写り、しかもその風景が尋常じゃない色彩で染められている。写真には具体的にでてきませんが、この作品を撮影するためには撮影ポイントを探し、適切なレンズの選択をし、適切な季節と天候が来るのを待ちと様々なことを考慮し、最後にチャンスの日が来たらすぐに行動する。努力の結晶としての1枚です。



一般部門賞



「元気に育て」

立川市職員労働組合 渡辺 美穂さん



佳作 「雪原のおやつ」 北海道札幌市中央区 町田市職員労働組合 守屋 涼さん



ネーチャー部門賞



「お地蔵様の春」

群馬県沼田市上発知町 大田区職員労働組合 江口 直美さん



佳作 「トロロの丘」 埼玉県所沢市比良の丘 自治労東京都庁職員労働組合 河野 里佳さん



携帯・スマホ部門賞



「朝の虹」

東京都江戸川区西葛西駅付近 東京交通労働組合 戸高 弘貴さん



佳作 「山門から望む富士」 山梨県七面山敬信院境内 東京交通労働組合 八木澤 本昌さん

自治労東京の

組織内議員に聞いてみました!

~労働組合と議員の協働、これからの自治体行政~

新春対談

自治労東京都本部 2023



北区議会議員 大畑 おさむ (おおはた おさむ)

現職8期目、立憲民主党。都議会議員秘書、政職を経て1987年初当選。北区議会議長などを歴任。東京交通労働組合組織内議員。

10月に私が声掛けをして、議員の有志とともに23区で初めてとなる「東京都北区地域公共交通基本条例」の制定に至りました。誰もが安心して快適に移動しやすいまちづくりについて基本理念を定めることに、区民事業者及び公共交通事業者の役割等を明らかにするのですが、ひとつひとつですが、より良い自治体づくりを進めていきたいと思っています。

どのような政策を推し進めていきたいですか?

大畑 私自身、若いうちに労働組合がしっかり把握でき、市の職員と市民の距離が近くなるような、組織体制を作っていくことが必要だと考えています。超高齢化社会を迎える中で、市民に信頼される行政を作っていく、そのためには働くということの質を高めていきたいと思っています。小枝 私はやはり環境・持続可能性です。都市部において子どもが地域で遊び、育つというように街づくりや緑地、子どもへの貧困対策が必要で、地域の開発では、意見の対立もあっていますが、やはり対話が重要で、対立する意見でも市民のみなさんが対話して導き出した答えならばそれは良いのではないかと思います。民主主義の力で判断したことは、また民主主義の力で回復します。みんなで話し合うことで、良い結論を見出すことが



千代田区議会議員 小枝 すみ子 (こえだ すみこ)

現職8期目、無所属。千代田区役所勤務を経て、1991年初当選。1997年フジテレビ「立ち上がる日本女性」として掲載。環境、まちづくりを中心に活動する。

大畑 公共サービスに携わる職員がしっかりと把握でき、市民の距離が近くなるような、組織体制を作っていくことが必要だと考えています。超高齢化社会を迎える中で、市民に信頼される行政を作っていく、そのためには働くということの質を高めていきたいと思っています。小枝 私はやはり環境・持続可能性です。都市部において子どもが地域で遊び、育つというように街づくりや緑地、子どもへの貧困対策が必要で、地域の開発では、意見の対立もあっていますが、やはり対話が重要で、対立する意見でも市民のみなさんが対話して導き出した答えならばそれは良いのではないかと思います。民主主義の力で判断したことは、また民主主義の力で回復します。みんなで話し合うことで、良い結論を見出すことが

大畑 公共サービスに携わる職員がしっかりと把握でき、市民の距離が近くなるような、組織体制を作っていくことが必要だと考えています。超高齢化社会を迎える中で、市民に信頼される行政を作っていく、そのためには働くということの質を高めていきたいと思っています。小枝 私はやはり環境・持続可能性です。都市部において子どもが地域で遊び、育つというように街づくりや緑地、子どもへの貧困対策が必要で、地域の開発では、意見の対立もあっていますが、やはり対話が重要で、対立する意見でも市民のみなさんが対話して導き出した答えならばそれは良いのではないかと思います。民主主義の力で判断したことは、また民主主義の力で回復します。みんなで話し合うことで、良い結論を見出すことが



八王子市議会議員 森 ヨシヒロ (もり よしひろ)

現職1期目、無所属。八王子市職員として勤務しながら、自治労東京都本部専従執行委員、同青年部長などを務め、2019年に初当選し、活動を始める。

大畑 公共サービスに携わる職員がしっかりと把握でき、市民の距離が近くなるような、組織体制を作っていくことが必要だと考えています。超高齢化社会を迎える中で、市民に信頼される行政を作っていく、そのためには働くということの質を高めていきたいと思っています。小枝 私はやはり環境・持続可能性です。都市部において子どもが地域で遊び、育つというように街づくりや緑地、子どもへの貧困対策が必要で、地域の開発では、意見の対立もあっていますが、やはり対話が重要で、対立する意見でも市民のみなさんが対話して導き出した答えならばそれは良いのではないかと思います。民主主義の力で判断したことは、また民主主義の力で回復します。みんなで話し合うことで、良い結論を見出すことが

組合員と議員の関係性について

大畑 私自身、若いうちに労働組合がしっかりと把握でき、市民の距離が近くなるような、組織体制を作っていくことが必要だと考えています。超高齢化社会を迎える中で、市民に信頼される行政を作っていく、そのためには働くということの質を高めていきたいと思っています。小枝 私はやはり環境・持続可能性です。都市部において子どもが地域で遊び、育つというように街づくりや緑地、子どもへの貧困対策が必要で、地域の開発では、意見の対立もあっていますが、やはり対話が重要で、対立する意見でも市民のみなさんが対話して導き出した答えならばそれは良いのではないかと思います。民主主義の力で判断したことは、また民主主義の力で回復します。みんなで話し合うことで、良い結論を見出すことが

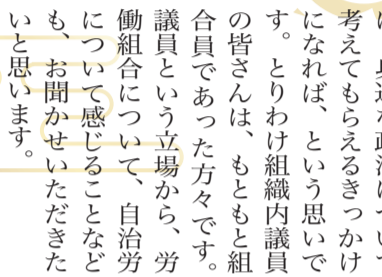
2023年4月に統一地方選挙が予定されています。都本部では、各自治体に協力・連携する議員の皆さんがいます。私たちが従事する地方自治体・公共サービスに関わる業務は、その多くが議会での議決に基づき行われます。賃金・労働条件においても、組合と当局が協議・交渉を行い、その内容をもって条例等を議会に上程し、審議・可決を経て確保されます。こうしたことから、私たちの業務、賃金・労働条件は、議会と密接に関係しています。

賃金労働条件の改善事項や誰もが安心して働けやすい職場づくり、より生活しやすい社会環境づくりなど、私たちの要求・要望を結実するために、組合員の現状や立場を理解し、議会や委員会において私たちの声を届ける議員の存在は不可欠となります。今回は2023年新春特別企画として、次回の統一地方選挙で都本部推薦が決定している都本部組織内議員の皆さんに対談を頂きました。組合員の皆さんに少しでも身近に感じてもらえればと思います。



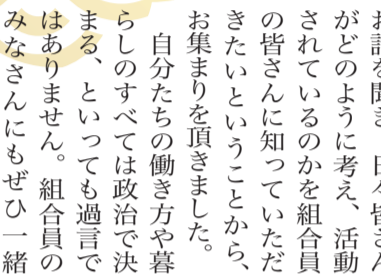
荒川市議会議員 河内 ひとみ (かわうち ひとみ)

河内 自分たちの処遇を改善するためには、やはり政治の場でもアプローチしていくことが必要です。声を届ける議員を育てるために、自治体の課題をしっかりと把握し、行政も動くということに関しても、一つ一つの経験が得られたと思っています。大畑 交通行政に関しては、東京都の判断によることも大きいですが、北区では2022年へ



八王子市議会議員 森 ヨシヒロ (もり よしひろ)

森 最新の制度改正や、そこに至る流れなどを自治労や自治研センターを通じて学べるのは、非常に助かっています。議員という立場となると、自分たちが町の専門家として意見を発信していかなくてはならない立場になるので、現場の人たちの様子を見ながら、対話しながら、どのようなことが必要とされているのか、知識を取り入れるながら、日々検討し活動する毎日です。大畑 失われた30年といわれる中、「自治体職場は厳しい財政状況」という言葉のもと、人員の削減、事業・施設の統廃合、民間委託も進み、直営の職場がどんどん縮小されてきました。労働組合も目の前の課題に精いっぱい目をつけているということが難しくなってきたという反省もあります。



八王子市議会議員 森 ヨシヒロ (もり よしひろ)

森 最新の制度改正や、そこに至る流れなどを自治労や自治研センターを通じて学べるのは、非常に助かっています。議員という立場となると、自分たちが町の専門家として意見を発信していかなくてはならない立場になるので、現場の人たちの様子を見ながら、対話しながら、どのようなことが必要とされているのか、知識を取り入れるながら、日々検討し活動する毎日です。大畑 失われた30年といわれる中、「自治体職場は厳しい財政状況」という言葉のもと、人員の削減、事業・施設の統廃合、民間委託も進み、直営の職場がどんどん縮小されてきました。労働組合も目の前の課題に精いっぱい目をつけているということが難しくなってきたという反省もあります。



八王子市議会議員 森 ヨシヒロ (もり よしひろ)

森 最新の制度改正や、そこに至る流れなどを自治労や自治研センターを通じて学べるのは、非常に助かっています。議員という立場となると、自分たちが町の専門家として意見を発信していかなくてはならない立場になるので、現場の人たちの様子を見ながら、対話しながら、どのようなことが必要とされているのか、知識を取り入れるながら、日々検討し活動する毎日です。大畑 失われた30年といわれる中、「自治体職場は厳しい財政状況」という言葉のもと、人員の削減、事業・施設の統廃合、民間委託も進み、直営の職場がどんどん縮小されてきました。労働組合も目の前の課題に精いっぱい目をつけているということが難しくなってきたという反省もあります。

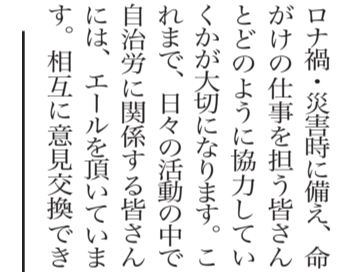
公共サービス労働者を取り巻く課題について

大畑 この間、地方公務員の給与もわずかに上昇を見せています。その効果も徐々に現れつつあります。河内 会計年度任用職員にも波及させることが必要だと考えています。大畑 公共サービスに携わる職員がしっかりと把握でき、市民の距離が近くなるような、組織体制を作っていくことが必要だと考えています。超高齢化社会を迎える中で、市民に信頼される行政を作っていく、そのためには働くということの質を高めていきたいと思っています。小枝 私はやはり環境・持続可能性です。都市部において子どもが地域で遊び、育つというように街づくりや緑地、子どもへの貧困対策が必要で、地域の開発では、意見の対立もあっていますが、やはり対話が重要で、対立する意見でも市民のみなさんが対話して導き出した答えならばそれは良いのではないかと思います。民主主義の力で判断したことは、また民主主義の力で回復します。みんなで話し合うことで、良い結論を見出すことが



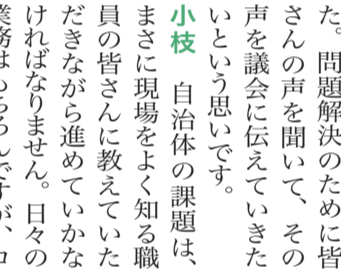
荒川市議会議員 河内 ひとみ (かわうち ひとみ)

河内 自分たちの処遇を改善するためには、やはり政治の場でもアプローチしていくことが必要です。声を届ける議員を育てるために、自治体の課題をしっかりと把握し、行政も動くということに関しても、一つ一つの経験が得られたと思っています。大畑 交通行政に関しては、東京都の判断によることも大きいですが、北区では2022年へ



八王子市議会議員 森 ヨシヒロ (もり よしひろ)

森 最新の制度改正や、そこに至る流れなどを自治労や自治研センターを通じて学べるのは、非常に助かっています。議員という立場となると、自分たちが町の専門家として意見を発信していかなくてはならない立場になるので、現場の人たちの様子を見ながら、対話しながら、どのようなことが必要とされているのか、知識を取り入れるながら、日々検討し活動する毎日です。大畑 失われた30年といわれる中、「自治体職場は厳しい財政状況」という言葉のもと、人員の削減、事業・施設の統廃合、民間委託も進み、直営の職場がどんどん縮小されてきました。労働組合も目の前の課題に精いっぱい目をつけているということが難しくなってきたという反省もあります。



八王子市議会議員 森 ヨシヒロ (もり よしひろ)

森 最新の制度改正や、そこに至る流れなどを自治労や自治研センターを通じて学べるのは、非常に助かっています。議員という立場となると、自分たちが町の専門家として意見を発信していかなくてはならない立場になるので、現場の人たちの様子を見ながら、対話しながら、どのようなことが必要とされているのか、知識を取り入れるながら、日々検討し活動する毎日です。大畑 失われた30年といわれる中、「自治体職場は厳しい財政状況」という言葉のもと、人員の削減、事業・施設の統廃合、民間委託も進み、直営の職場がどんどん縮小されてきました。労働組合も目の前の課題に精いっぱい目をつけているということが難しくなってきたという反省もあります。

新春 クロスワードパズル. Includes a crossword puzzle grid with clues in Japanese and English, and a QR code for more information.

応募方法. Includes a QR code and instructions for submitting responses to the survey.